

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	都市整備課(都市事業担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	河川改修事業	事業番号	12195

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9	道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	河川改修工事などの対策を講じ、自然災害による市民生活に対する被害の未然防止を図る。
成果	河川周辺住民の安全な生活環境の確保に資する。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27							
28	ハッタリ川改修事業 ΣL=400m (測量調査・地質調査・越水対策検討設計 L=400m) 友知川改修事業 ΣL=107.5m [本工事 L=107.5m(アイバン柵渠取替え)]							
29	ハッタリ川改修事業 ΣL=400m [本工事=400m(堤防嵩上げを想定)] 婦羅理川河口対策事業：河口対策							
30	第一オキネツ川改修事業 ΣL=100m (測試 L=100m)							
31	第一オキネツ川改修事業 ΣL=100m [本工事 L=100m(積ブロックを想定)]							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費			27,600	306,000	5,400	5,400	344,400
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債		19,400	270,000	4,800	4,800	299,000
		その他						
	一般財源			8,200	36,000	600	600	45,400
	人員(人工)			0.17	0.25	0.25	0.25	
職員費(人員×8,081千円)			1,374	2,020	2,020	2,020	7,434	
総事業費			28,974	308,020	7,420	7,420	351,834	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	河川改修箇所数(全4ヶ所)	1ヶ所	4ヶ所	6ヶ所
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	普通河川周辺住民の安全な生活環境の確保が図られる。
--------------------------	---------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 老朽化対策や大雨高潮の抜本的な対策を望む住民からの要望がある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 根室市普通河川管理条例に基づき、河川管理者が行う必要性がある。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 想定被害は市民生活や経済活動に係るため、応急対策とは別に恒久的な措置を行う必要があり、緊急性は高いと判断した。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 調査設計・河川改修工事は、専門的知識・専門技術を有する業者による施工が必要であるため。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 市民の災害に対する不安を解消し、周辺住民の安全を守るために行われている事業のため。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 恒久的な対策により、自然災害の発生を未然に防止し、周辺住民の安全が守られるため。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【計画どおり実施】 円滑に事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

作成年度

平成28年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	都市整備課(都市管理担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	都市計画用途地域指定事業	事業番号	12603

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9	道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	現在指定している用途地域と、土地利用の整合性がとれていない箇所や、将来に向けた駅周辺の再開発が可能となる用途地域に変更し、無秩序な都市の外延化を防ぐとともに都市計画マスタープランに即した用途地域とする。
成果	用途地域指定を指定していない白地地域のうち、既成住宅化している部分(いわゆるにじみ出し)を住居地域に指定するとともに、駅周辺の将来的な再開発を見据え、住宅地域を商業地域に変更指定する。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	根室市都市計画審議会への諮問や北海道との協議を行い、用途地域の変更指定を行う。						
	28							
	29							
	30							
	31							
31								
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費			6,430				6,430
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源		6,430				6,430
	人員(人工)			1.75				
職員費(人員×8,081千円)			14,142				14,142	
総事業費			20,572				20,572	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	地域住民説明会の回数	1回	1回	(事業終了)

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	用途地域の変更をすることにより、都市の無秩序な外延化を防ぐ。
-------------------	--------------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 用途地域の変更をすることにより、駅周辺の将来的な再開発を見据えるなど中心市街地の活性化が図られるため。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 用途地域の変更等の都市計画決定については、都市計画法により市町村が定めることとしているため。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 現時点で現況の土地利用と都市計画(用途地域)の整合がとれていない箇所が、数ヶ所存在しており、早期の変更が必要であるため。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 北海道作成による「土地利用の手引き」「白地地域建築形態規制ガイドライン」に基づく手続きによるため。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 今後の事務手続きとして、都市計画審議会への諮問や住民への説明などを行なうことにより、市民等への理解を求めるため。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 中心市街地の活性化の推進、住宅地の快適性・利便性の向上、工業地の安心・安全の確保が図られるため。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 都市マスタープランの見直し作業とともに、速やかに着手されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

作成年度 平成28年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	都市整備課(都市事業担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	街路灯建替事業	事業番号	12179

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9	道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	老朽化した街路灯の建替え等を行い、道路(夜間)交通の安全性と快適性を向上する。 1. 老朽化した木柱街路灯の建替工事 2. 幹線道路の付属物(ストック)点検に基づき、補修が必要になった街路灯の補修
成果	道路利用者被害の防止(倒壊や落下などでの被害を未然に防止)
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	木柱街路灯建替 17灯						
	28	木柱街路灯建替 20灯(全191灯) 街路灯補修 56基(全2,669基)						
	29	木柱街路灯建替 22灯(全191灯)						
	30	木柱街路灯建替 16灯(全191灯)						
	31	木柱街路灯建替 5灯(全191灯)						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		1,534	7,020	1,620	1,620	1,620	13,414
	内訳	国庫支出金		2,600				2,600
		道支出金						
		地方債		1,400				1,400
		その他						
	一般財源		1,534	3,020	1,620	1,620	1,620	9,414
	人員(人工)		0.04	0.08	0.08	0.08	0.08	
職員費(人員×8,081千円)		323	646	646	646	646	2,907	
総事業費		1,857	7,666	2,266	2,266	2,266	16,321	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	街路灯建替数(全191件)	128件	191件	191件
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	道路利用者被害の未然防止。
-------------------	---------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 日常的に老朽化や玉切れなどに関する市民からの連絡があるため。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 道路管理者は、道路法42条により「道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない」とされているため。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 老朽化が進行している施設の破損や器具落下などによる第三者被害が想定されるため。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 補助金を利用できる事業は、最大限活用して実施しているため。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 道路利用者全体に関する事業のため。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 恒久的な対策により、道路利用者や周辺住民の安心安全が守られるため。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 円滑に事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	建設水道部都市整備課都市事業担当	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	防雪柵設置事業	事業番号	12414

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9	道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	冬期間の防風雪による視程不良区間の解消や防風雪に起因する通行止めの低減により、道路利用者の交通安全の向上を図る。
成果	冬期間の地吹雪時における視程が確保されることにより、冬期間の交通安全が確保され市民が安心して冬の暮らしを送ることができる。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要					
	27	なし					
	28	牧の内3号線測量調査設計委託(防雪対策) L=700m					
	29	牧の内3号線防雪柵建替工事 L=400m					
	30	牧の内3号線防雪柵建替工事 L=300m					
	31	未定					

(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費	
事業費と内訳	事業費		7,560	73,440	55,080		136,080	
	内訳	国庫支出金			47,736	35,802		83,538
		道支出金						
		地方債		7,500	25,700	19,200		52,400
		その他						
		一般財源		60	4	78		142
人員(人工)			0.04	0.08	0.08			
職員費(人員×8,081千円)			323.24	646.48	646.48			
総事業費			7,883	74,086	55,726		136,080	

維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	防雪柵建替総延長	0m	700m	700m

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	冬期間の円滑で安全な通行確保。(気象条件によるが、視程障害を低減する効果が期待できる)
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 近年の防風雪に関して、防雪対策を望む要望は多いため。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 道路管理者は、道路法42条により「道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない」とされているため。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 老朽化が進行している施設の倒壊や破損などによる第三者被害が想定されるため。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 道路ストック点検に基づき補助金を活用した事業のため。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 対策が必要な路線全てに設置できれば問題ないが、財政的な問題から最低限の設置にとどまっている現状を考えると既設柵の維持とそれ以外の路線は除雪体制の強化で公平性を担保するしかないと思われるため。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 冬期間の円滑で安全な通行の確保を事業目的としているため。 (防雪柵更新は、老朽化対策のため)

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 円滑に事業推進を図られたい。なお、事業費について、実施計画との整合を確保されたい。また、活動指標について、設定例を参考に加筆するとともに、事務事業の効果について記入されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する